

北海道デザイン経営実践事例集、 外国出願補助金について

2025年7月14日（月）

北海道経済産業局 地域経済部 産業技術革新課 知的財産室

【問合せ先】

TEL : 011-709-2311（内線2586）

E-mail : bzl-hokkaido-chizai@meti.go.jp

1. 北海道デザイン経営実践事例集

- 全国的にデザイン経営に取り組む企業が増えつつある昨今、道内企業や支援機関へのヒアリングの結果、「デザイン経営と聞くとそれだけで敬遠してしまう。」「デザイン経営は知っているが、なかなか自分事として考えられない。」との声が複数聞かれた。
- 道内企業の身近な導入例を示すため、デザイン経営を実践している**道内企業7社を対象に座談会とインタビューを実施。**デザイン経営を実践するにあたり取り組むべき3つのデザイン（人格形成・文化醸成・価値創造）※の観点から、各企業の取組を紐解き紹介する事例集を作成した。※経済産業省 特許庁「中小企業のためのデザイン経営ハンドブック2」

「自社らしさ」が未来を変える-北海道デザイン経営実践事例集-



座談会

- ・ 株式会社水野染工場（旭川市）
- ・ サザエ食品株式会社（札幌市）
- ・ プロテック株式会社（札幌市）
- ・ 株式会社アトリエテンマ（札幌市）

個別インタビュー

- ・ 株式会社青井商店（旭川市）
- ・ 一鱗共同水産株式会社（札幌市）
- ・ 株式会社トーシン（札幌市）

「デザイン経営」とは

= 企業価値を向上させるためにデザインを活用し、ブランドの構築、イノベーションの創出そして経営全体の変革につなげる手法のこと

- 社会や産業構造に大きな変化が生じている昨今、企業が生き残るためには真に顧客に必要とされる存在に生まれ変わることが重要。
- 経済産業省 特許庁は「産業競争力とデザインを考える研究会」の報告書として『「デザイン経営」宣言』を2018年5月に公表し、「デザイン経営」の推進を提言。

「デザイン経営」の効果 =

ブランド力向上 + イノベーション力向上

= 企業競争力の向上

「デザイン経営」は、ブランドとイノベーションを通じて、企業の産業競争力の向上に寄与する。

ブランド構築に資するデザイン
Design for Branding

イノベーションに資するデザイン
Design for Innovation

「デザイン経営」の効果

£1 Design investment

- ◆ **£4**
Design leads to profit
For every £1 invested in design, businesses can expect over £4 increase in net operating profit.
- ◆ **£20**
Design increases turnover
For every £1 invested in design, businesses can expect over £20 in increased revenues.
- ◆ **£5**
Design boosts exports
For every £1 invested in design, businesses can expect a return of over £5 in increased exports.

4 倍の利益

£1のデザイン投資に対して、営業利益は£4、売上は£20、輸出額は£5増加
(出典) British Design Council "Design Delivers for Business Report 2012" を基に特許庁作成

2.1 倍の成長

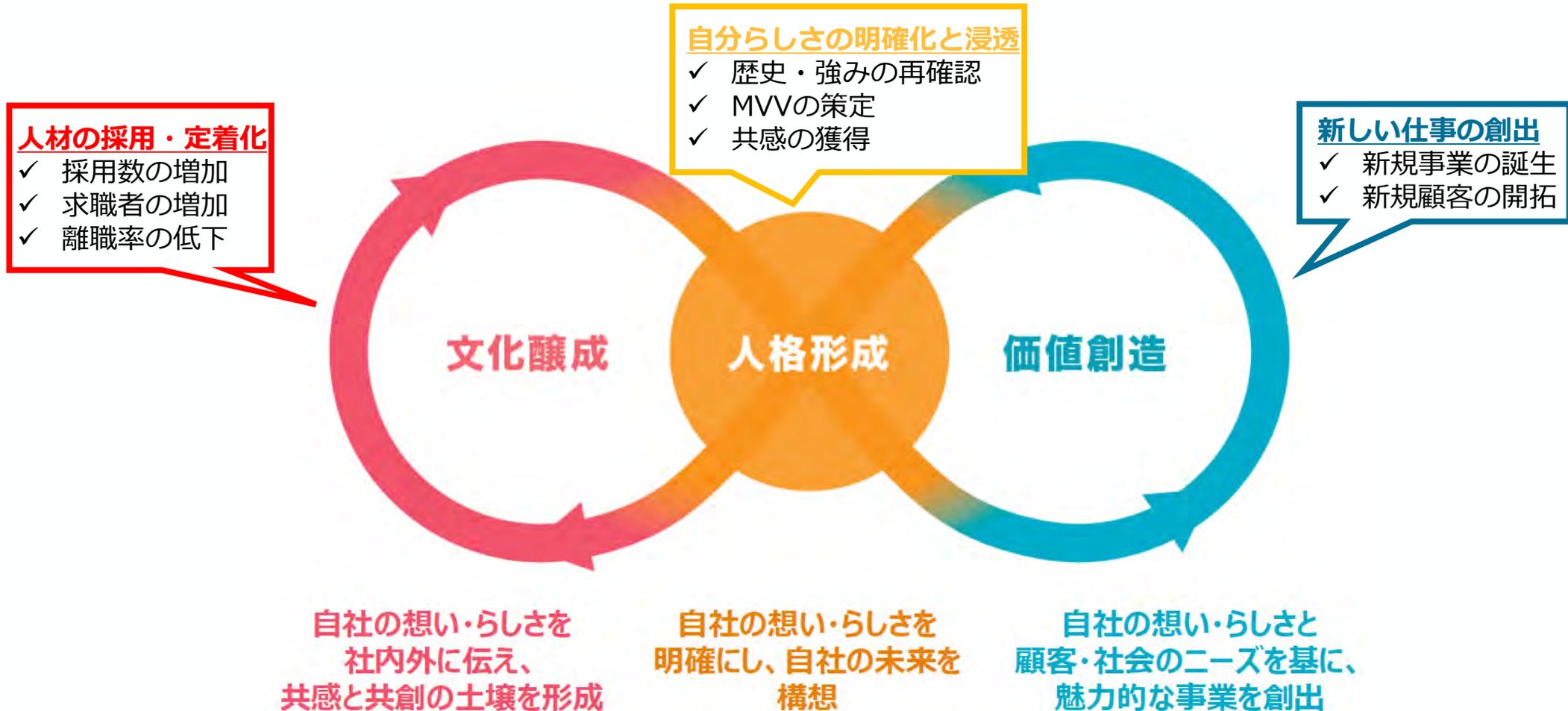
デザインを重視する企業の株価は、S&P 500全体と比較して、10年間で2.1倍成長
(出典) Design Management Institute "What business needs now is design. What design needs now is making it about business." を基に特許庁作成

2.0 倍の成長

デザイン賞に登場することの多い企業(166社)の株価は、市場平均(FTSE index)と比較し、10年間で約2倍成長
(出典) British Design Council "The impact of Design on Stock Market Performance: An Analysis of UK Quoted Companies 1994-2003, 2004" を基に特許庁作成

3つのデザインによる好循環モデル

- 企業がデザイン経営を実践するにあたり取り組むべきデザインとして「人格形成」「文化醸成」「価値創造」の3つを示している。



事例集コンテンツ紹介

1. 座談会

- デザイン経営を自社に取り入れている経営者がその意義・成果について語る。



株式会社水野染工場（旭川市）
代表取締役 水野 弘敏 氏

- ・明治40年創業の老舗染色会社の4代目。
- ・「売れる色と柄」を選ぶため、色の専門家やデザイナーとタッグを組んだ。お客様の動線の分析やディスプレイも専門家に手助けしてもらった。
- ・**パートナーは絶対自分で選ぶ。**自分の思考に共感してくれて、イメージを広げ育ててくれる人に話をしたい。
- ・美瑛町に藍染めの体験工房を作った。**日本古来から伝わる藍染技術を後世に残したい。**



プロテック株式会社（札幌市）
代表取締役 小松 麻衣 氏

- ・創業38年のシステム会社の2代目。
- ・北海道経済産業局のデザイン経営セミナーを受け、経営理念を社員に言い聞かせるようになった。
- ・**福祉事業所で制作している商品を販売するECサイトを立ち上げた。**事業所の売り上げが伸び、障害がある方の賃金上がり、事業所全体の満足度や幸福度が上がって自社の良さも知ってもらおうという循環を見据えている。
- ・デザイナーを採用し、**自社内でのデザイン人材の育成にも取り組んでいる。**



サザエ食品株式会社（札幌市）
商品部 ゼネラルマネージャー 藤井 崇 氏

- ・サザエ食品に新卒で入社し、2023年から新社長のもとでリブランディングを推進。
- ・**2024年にロゴを一新し、『手のひらに、想いをのせて。』というコンセプトを定めた。**
- ・エイトブランディングデザインがパートナーとなり、社内にプロジェクトチームを設置した。
- ・創業者の思いや歴史に立ち返り、おはぎとおむすびを中心とする商品ラインアップに変更。
- ・**従業員の「自分ごと化」が進み、社員が活発に意見を言うようになった。**



株式会社アトリエテンマ（札幌市）
代表取締役 長谷川 演 氏

- ・建築・インテリアデザインを中心に、幅広いプロダクトを手がける。
- ・アイデアは経営者との対話の中から見えてくる。**合気道のように、相手のエネルギーを活かしながら最小限の力で最大限の価値を引き出す。**
- ・小学生から経営者まで幅広い層を対象に「デザイン塾」を行っている。**デザインとは、自分の目指すところを伝える力、それをイメージして自分でやり切る力だと思う。**

2. 事例紹介

① 株式会社青井商店 (旭川市、作業用品卸売・オリジナル用品開発販売)

- 青井社長自らがデザイナー的役割を担う。顧客の声を徹底的に拾い上げ、寒冷地の現場ニーズを反映した独自ブランド「AOI WORKS」を確立し、卸売業から脱却。他社からの模倣を防ぐため、商標も取得。
- 製品のデザインも手がけつつ、品質の良さを武器にロシアや中央アジアへの輸出など、海外展開にも成功。
- 会社の未来をデザインするのは経営者自身。



代表取締役 青井 貴史 氏



- ・「会う」ことで築く信頼
- ・「国」ではなくて「人」を見る
- ・自由な社風で自分ごと化

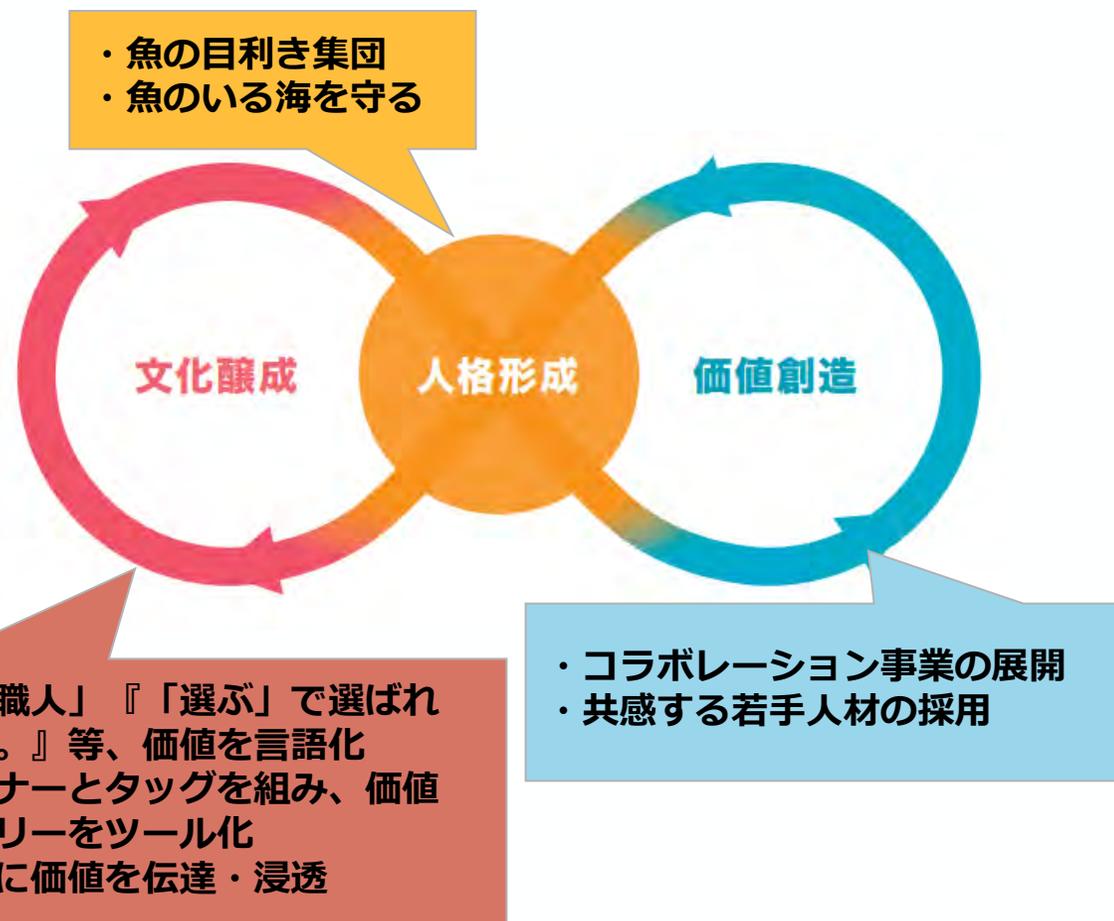
- ・徹底した顧客目線の商品開発
- ・独自ブランド「AOI WORKS」
- ・商標でブランドを守る

② 一鱗共同水産株式会社（札幌市、水産卸売業）

- 採用難に直面し、仲卸という仕事の価値の見える化にデザイナーと共に挑戦。『「選ぶ」で選ばれている。』という仲卸の本質を表す言葉を生み出し、HPやパンフレットに展開。
- このデザイン経営の取組が共感を呼び、飲食店経営者とつながり、共同プロジェクトの「一鱗酒場」が誕生。



(右) 取締役副社長 本間 雅広 氏



③ 株式会社トーシン (帯広市、アミューズメント・カプセルトイ事業)

- デザインの力によって、「汚い・古い・怪しい」と言われていたカプセルトイ業界のイメージを大きく転換。
- デザイナーとタッグを組んで、未来的なビジュアルとワクワクするデザインをモチーフとする専門店「#C-pla」をオープン。現在は全国に200店舗を展開する人気店となり、売上100億円を突破。
- 業界及び企業イメージの一変により新卒採用の倍率は50倍の人気を誇る。



(右) 代表取締役 宮本 達也 氏

・カプセルトイ業界の価値を高める



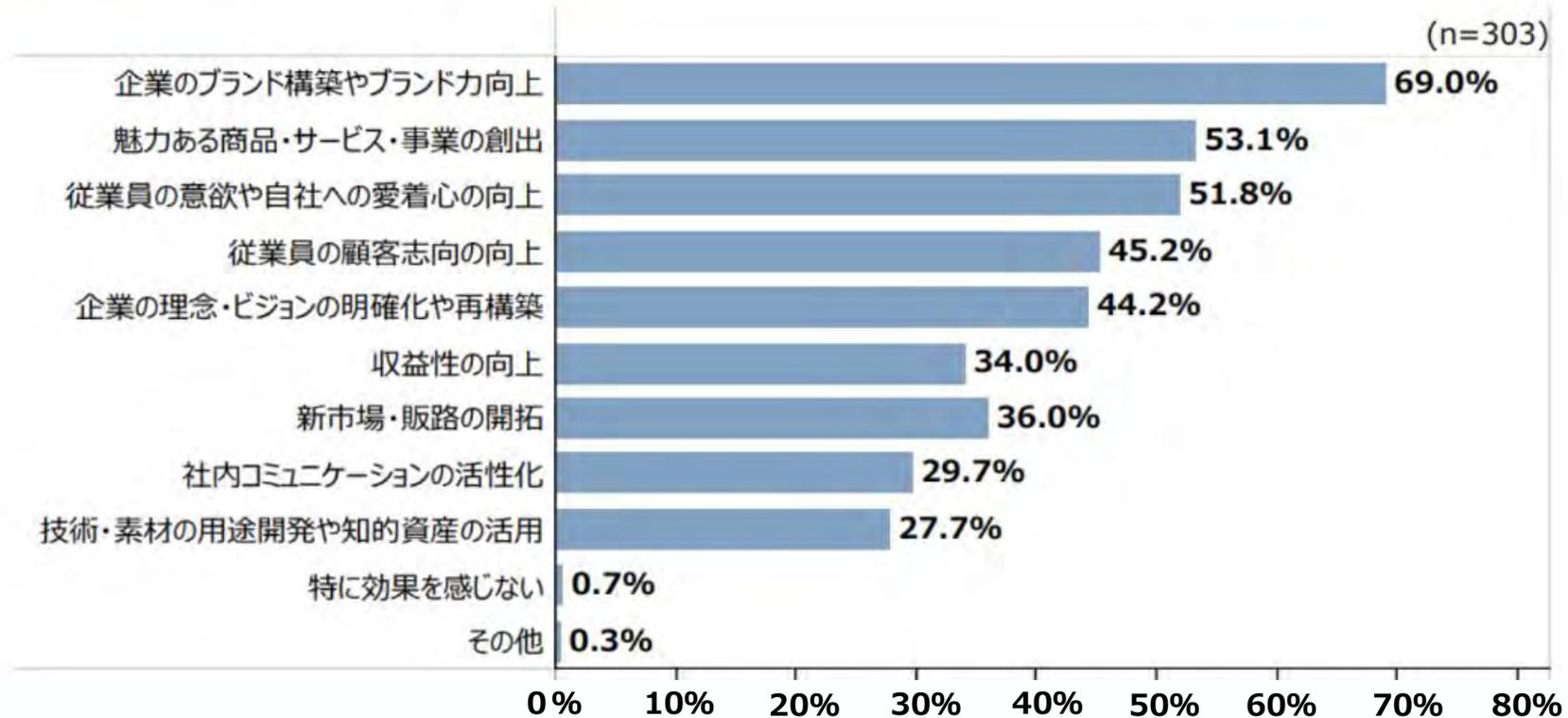
- ・従業員が主体的に働く組織作り
- ・地域密着型デザインによる共感
- ・地域への理解促進

- ・#C-plaによるブランド確立
- ・「働きたい」業界イメージへ変革
- ・「体験」を提供する場所へ

(参考) デザイン経営の効果

① デザイン経営が定着している中小企業はブランド力向上などを実感

第2-2-14図 デザイン経営による効果



資料：(株)東京商工リサーチ「中小企業の経営理念・経営戦略に関するアンケート」

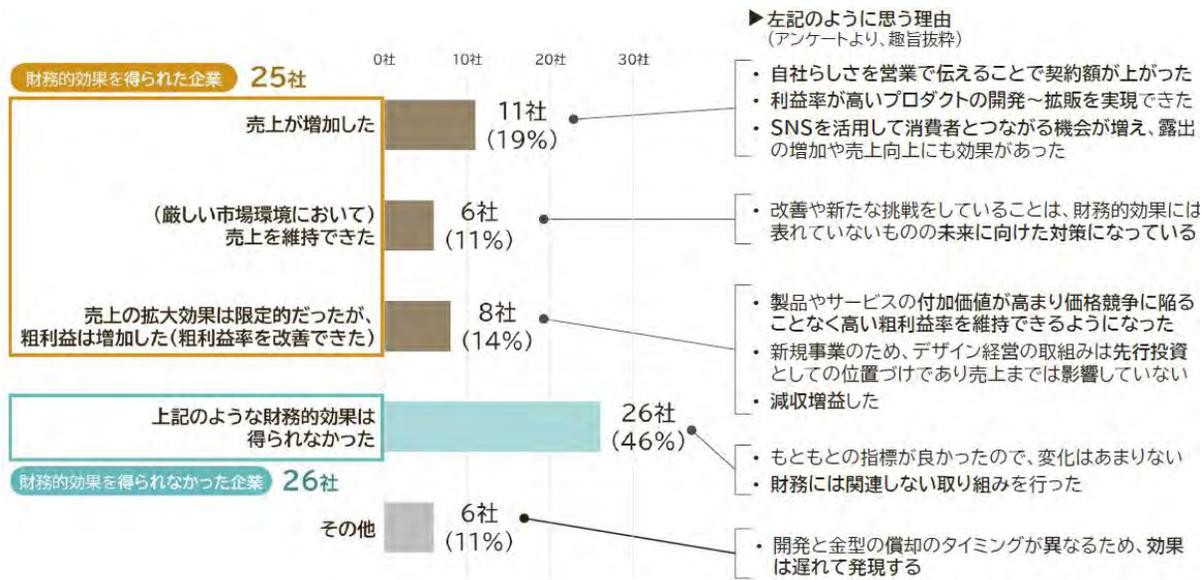
(注) 1.複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

2.デザイン経営について、「既に取り組み、定着している」と回答した企業を集計対象としている。

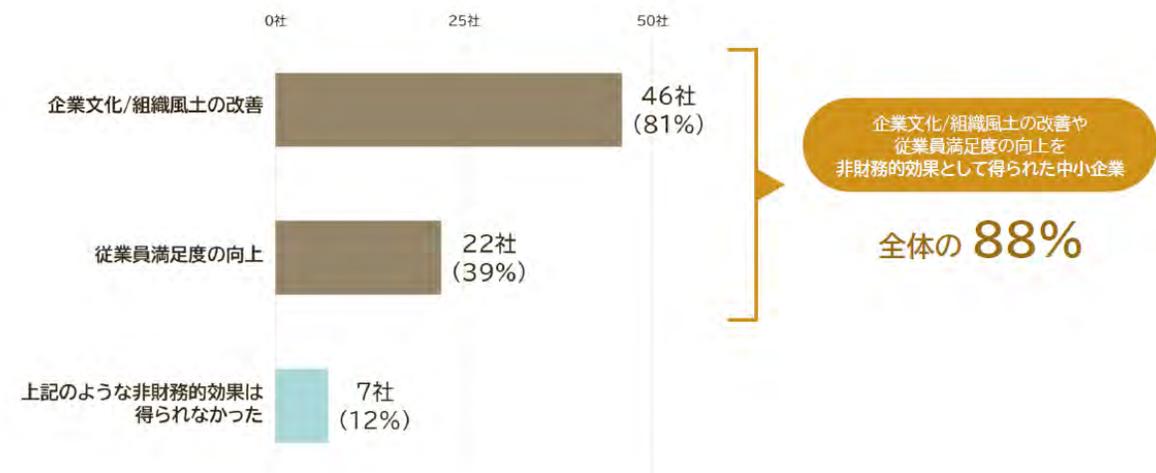
②財務的効果も44%の企業が実感

- 過去にデザイン経営支援プログラムに参加した企業を対象に行ったアンケート調査※によると、「財務的効果を得られた」と回答した企業が44%。
- また88%の企業が「非財務的効果を得られた」と回答。企業文化/組織風土の改善や、従業員満足度の向上を実感している。

【財務的効果】（アンケートより） | 回答企業数57社



【非財務的効果】（アンケートより） | 複数回答可、回答企業数57社



※ 2020年～2023年に中部・近畿地方において実施された9つのデザイン経営支援プログラムを対象に中小企業90社超にアンケートを送付し、57社からの回答。

2. 外国出願補助金

- **中小企業等による特許、実用新案、意匠、商標等の外国出願に要する経費の一部を補助**することで、中小企業等の戦略的な外国出願を促進し、知的財産権を活用した海外展開支援を行う。
- **地域版**（事務局：公益財団法人北海道中小企業総合支援センター）と**全国版**（事務局：独立行政法人工業所有権情報・研修館）がある。

【事業スキーム】

事業類型	対象	1出願に対する補助上限/補助率 ＜出願手続＞	1手続に対する補助上限/補助率 ＜中間応答、審査請求＞ ※全国版のみ
特許	・申請時に既に国内で出願を行っており、採択後、優先権を主張して外国に出願する予定のもの。 ＜出願手続＞	150万円 / 1/2以内	50万円 / 1/2以内
実用新案、 意匠、商標	・過去にINPIT・特許庁の「外国出願補助金」を利用し、出願した特許案件のうち、「拒絶理由通知」を受領しており、拒絶理由に「新規性」、「進歩性」が指摘されたもの。 ＜中間応答＞ ※全国版のみ	60万円 / 1/2以内	
冒認対策 商標	・過去にINPIT・特許庁の「外国出願補助金」を利用し、出願した特許案件のうち、まだ審査請求を行っていないもの。 ＜審査請求＞ ※全国版のみ	30万円 / 1/2以内	

＜出願手続＞ 1法人に対する補助上限額は300万円。なお、全国版の場合、試験研究機関等は1法人当たりの上限額なし。

＜中間応答、審査請求＞ 1法人当たりの上限額なし。

要件・公募期間

【要件】

項目	
対 象 者	<p><地域版>・道内の中小企業者又は中小企業者で構成されるグループ。 ・地域団体商標については、商工会議所、商工会、NPO法人等が対象。</p> <p><全国版>・中小企業者、組合、試験研究機関等。</p>
補 助 対 象 経 費	<p>① 外国特許庁への納付手数料、② ①に要する国内代理人・現地代理人費用、③ ①に要する翻訳費用</p>
応 募 及 び 問 合 せ 先	<p><地域版> 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター 企業振興部 TEL : 011-232-2403 E-mail : jyoseishien@hsc.or.jp</p> <p><全国版> 独立行政法人工業所有権情報・研修館 外国出願補助金事務局 TEL : 03-3502-5424 E-mail : info@gaikoku.inpit.go.jp</p>

【公募期間】

- <地域版> ○第1回：~~令和7年4月22日（火）～5月30日（金）~~（募集終了）
○第2回：令和7年7月中旬頃予定
- <全国版> ○出願手続 第1回：~~令和7年5月12日（月）～6月16日（月）~~（募集終了）
第2回：令和7年9月上旬頃予定
- 中間応答・審査請求：**令和7年7月1日（火）～12月22日（月） 17:00**